

奈良県立香芝高等学校 中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命（スクール・ミッション）		これまでの本校での取組と成果の上に、生徒・保護者及び地域のニーズを踏まえ、生徒が「行きたい」、保護者が「行かせたい」、そして地域から信頼される学校を創り、以下の人材を育成します。 1 人権を尊重し、豊かな人間性と創造性を備えた人材 2 コミュニケーション能力や情報活用能力を備えた人材 3 地域の高校として、地域の未来を担っていく人材
教育方針（スクール・ポリシー）	入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 本校の使命や教育方針を理解する生徒 2 基礎的な学力が身に付いており、主体的に学ぶ意欲の高い生徒 3 明るく、素直で、チャレンジ精神をもち、社会貢献の意識が高い生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と、激動の社会に対応できる能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒一人一人の興味・関心や進路希望に対応するため、多様な科目選択ができるカリキュラムを編成します。 2 個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、ICTを最大限活用した授業を展開します。 3 情報活用能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を育むため、言語活動を重視した探究型の学習を行います。 4 学習意欲の向上を図り、主体的な学び・深い学びに繋げるため、ICTを効果的に活用した授業プログラムを展開します。 5 主体性と協働意識、他者尊重と社会貢献の精神を涵養するため、学校行事や課題活動、ボランティア活動などを計画的に組み入れます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 個人の尊厳を重んじ、礼節を学び、常に和敬の心をもって自他の向上に努めることができる。（和敬） 2 学業に励み、真理を希求し、勤労と責任を重んじ、日々たゆまず努力し、新たな文化の創造に努めることができる。（創造） 3 常に心身の錬磨に励み、高い知性と健全な身体を培い、強固な意志とたくましい実践力を身に付けている。（錬磨）

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	体力の向上	新体力テストTスコアの校内平均値が全国平均値以上
	望ましい生活習慣の確立	1人あたり年度遅刻回数(怠惰や不注意によるもの)が2回以下
	自他を尊敬する和敬の心の涵養	校内生徒アンケートの設問「他人の気持ちを、きちんと思いやることができていますか」に肯定的回答が95%以上かつ、「とてもそう思う」の回答が45%以上
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	生徒授業アンケートの設問「(授業中に)考えたり、活動したりする時間が十分にあった」の評価が全学年で3.5以上
	学習意欲の向上	校内生徒アンケートの設問「授業中、充実感を感じていますか」に肯定的回答の割合が全学年で85%以上
	ICTを活用した教育の推進	校内生徒アンケートの情報活用能力に関する設問に肯定的回答が入学時比で20%増
	読書活動の推進	月に全く読書をしない生徒の割合50%以下
	学校における働き方改革の推進	教職員の年休取得が平均14日以上
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	インターンシップまたはアカデミックインターンシップの参加者が年度50人以上
	地元企業等との協働事業の実施	相互交流事業を年度計5回以上実施
	キャリア教育の推進	外部講師または社会人講師によるキャリア教育講演会を年度3回以上実施
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	学校運営協議会を年度3回開催
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」のフィールドワーク及びプレゼンテーションを年度計3回以上実施
	地域の学校との交流の推進	相互交流事業を年度計5回以上実施
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育の推進	人権学習ホームルームの事前職員研修及び外部講師による人権講演会等を年度計5回以上実施
	学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	校内生徒アンケートの設問「いじめや差別のない学校だと思う」に肯定的回答の割合が95%以上
	特別支援教育の推進	教育相談・特別支援教育委員会を年度5回以上開催